

# 第1回委員会での議論を踏まえた今後の検討の進め方と論点整理（案）

資料2

- [検討の進め方] (1) 第1回委員会での議論を基に整理した8つの論点について、第3回～第6回の計4回の委員会で実質的な検討を進める。  
 (2) 具体的な取組事例や先進事例、今後想定される地域の課題や社会的課題を踏まえる。  
 (3) 全市的な視点からにとどまらず、地域レベルからの視点からも検討を進める。

項目	時期 (H27年)	検討事項		(参考)各委員が関係する具体的活動	
		論点	キーワード等	活動内容	委員名
第2回	1月26日	(i)第1回目の議論の振り返り (ii)今後の検討の進め方と報告に向けたイメージの確認 (iii)川崎市が把握する協働・連携の具体的取組の確認を踏まえた今後の検討の論点整理			
第3回	3月下旬	論点① 人材	・地域人材と活動団体の人材マッチング ・社会貢献意欲ある若い人の活動の受け皿づくり ・シニア世代を中心とした地域貢献の場づくり(有償ボランティア制度)	・小中高生世代へのキャリア教育実践活動	下川原委員
		論点② ソーシャルビジネス	・新しい働き方、社会貢献の仕組みとしてのソーシャルビジネスの役割 ・社会貢献意欲ある若い人の活躍の受け皿づくり(再掲) ・シニア世代を中心とした地域貢献の場づくり(有償ボランティア制度)(再掲)	・ソーシャルビジネス育成・支援の活動 ・長沢自治会の活動	治田委員 末吉委員
第4回	4月下旬	論点③ 資金	・寄付や会費や収益事業としてのソーシャルビジネスなど、行政以外の多様な資金調達の手法 ・クラウドファンディング、市民ファンドなど、活動に共感を得るための仕組み	・社会的投資を引き出す取組	岸本委員
		論点④ 場	・こども文化センター、いこいの家等の既存行政施設の有効活用 ・空き家などの地域資源としての利活用	・市民ファンド「かわさき市民しきん」の活動	広岡委員
第5回	5月下旬	論点⑤ 中間支援機能・組織	・全市レベルだけではなく区レベルでの中間支援組織のあり方(様々なマッチングや相談機能など中間支援機能の強化) ・各区まちづくり推進組織のあり方、課題の整理	・かわさき市民活動センターの活動 ・ボランティア活動振興センターの活動	小倉委員 齊藤委員
		論点⑥ 情報	・オープンデータを活用した地域課題の解決促進ツール ・ICTを活用した情報発信・交流プラットフォーム ・地域や活動団体などと連携した情報プラットフォームの構築の進め方	・宮前区まちづくり協議会の活動 ・ICT、ビッグデータを活用した情報プラットフォーム・アプリ開発	村瀬委員 岩本委員
第6回	7月上旬	論点⑦ 行政の役割や具体的な施策	・市役所と区役所の連携(市レベルと区レベルでの取組の相互連携・情報共有) ・公共調達等における社会的事業者の参加拡大や活動内容の評価など ・協働・連携に向けた地域資源の活用の仕組み ・区役所職員の地域コーディネート機能 ・市民同士の協働・連携に向けた行政の役割		
		論点⑧ 協働・連携の対象、意義、定義など	・主体別の協働・連携の整理 ・川崎市の実態に即した協働・連携のあり方 ・協働型事業のルールの検証・見直し		
第7回	8月上旬	これまでの議論の振り返り、基本方針の方向性の検討、報告書骨子案の検討			
第8回	10月上旬	報告書(案)の検討			
第9回	11月上旬	報告書(案)の確定、報告書提出			